【公報種別】実用新案法第１４条の２の規定による訂正明細書等の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【登録番号】実用新案登録第3175930号(U3175930)
【訂正の登録日】平成26年11月17日(2014.11.17)
【登録公報発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)
【出願番号】実願2012-1491(U2012-1491)
【国際特許分類】
　Ｇ０１Ｎ　23/04　　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｇ０１Ｎ　　23/04

【訂正書】
【提出日】平成26年10月6日(2014.10.6)
【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮
【訂正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
　シールされた袋が一定ピッチで連続的に連なった連包品をその長手方向に一定速度で搬送しながら連包品にＸ線を照射して連包品のシール部分を検査するＸ線検査装置であって、前記連包品にＸ線を照射する位置の上流側に設置されて連包品のシール部分を検出する検出手段と、その検出手段からの検出信号に基づいて、検出されたシール部分がＸ線の照射位置を通過する時間帯を算出する算出手段と、算出された時間帯の透過Ｘ線画像に基づいて連包品のシール不良を判別する判別手段とを備え、前記連包品は連包品を蓄えるプールボックスと搬送ユニットを介して前記検査を行う検査室に導入され、前記搬送ユニットは、上下一対のピンチローラ間に挟み込まれた連包品を前記プールボックスから引き出して前記検査室へ送り込み、前記検出手段は超音波発信器と超音波受信器とからなる超音波センサであることを特徴とするＸ線検査装置。